

WBC : Whole Body Counter / ホールボディカウンタ

個人の内部被ばくの測定装置で、体内に摂取された放射性物質を体外から測定する全身放射能測定装置。(ヒューマンカウンターとも呼ばれる。)更に検出器の種類により、通常モニタリング用(プラスチックシンチレーション検出器)と精密検査用(NaIシンチレーション検出器)がある。

NaIシンチレーション検出器を用いたホールボディカウンタは感度が比較的低いため測定時間が長い、測定結果は核種毎の放射エネルギー[Bq]で算出される。主に線量評価用に用いる。

プラスチックシンチレーション検出器を用いたホールボディカウンタは感度が高いため測定時間が短い、測定結果は全γ(核種特定が出来ない)の計数率[cpm]で表される。主にスクリーニング用として用いる。

アラームタイプ

プロセス計算機から出力されるデータの一種で、異常事象の発生時刻等の記録、プラントシステムの対応動作の記録等が示される。基本的にプリントアウトされ紙による記録として残される。

安全保護系

原子炉施設の異常状態を検知し、異常のある場合は原子炉停止系、工学的安全施設などを作動させる設備。安全保護系の設備は、多重性及び独立性が要求される。

インターロック

誤った操作によるトラブルを防止するため、必要な条件を検知し設備の動作を許可したり、禁止したりする仕組みをいう。

運用補助共用施設(共用プール建屋)

使用済燃料共用プール設備などの入っている施設。使用済燃料共用プール設備は、福島第一原子力発電所各号機に設置されている使用済燃料プールの運用上余裕を確保するため、使用済燃料貯蔵容量を約250%から約450%に増強する目的で設備され、平成9年10月1日より運用を開始している。

オフサイトセンター

原子力災害発生時に、国、自治体、原子力事業者による事故拡大防止のための応急対策、住民の安全確保策など実施するための拠点。オフサイトセンターに「原子力災害合同対策会議」が組織される。原子力施設から20km以内に設置される。